

町政を問う

町長再選への決意やいかに？



入江 正美

二期目に向けての考えを問う

町長 現時点まだ決断に至っていない

入江 月日が過ぎるのは早いもので、町長の任期も残すところ約四ヶ月となった。

町長就任以来、いろいろな苦労があったと推測する。六月定例議会において野坂議員への答弁では、今はまだ白紙であるとのことだったが、任期は目の前に迫って来ている。二期目へ向けての考えを問う。

町長 町民の方、団体の方等から激励の声を掛けてもらう機会が増えていく。就任当時は課題が多かったが、いろいろ運にも恵まれ、ほぼ解消、道筋が見え充実感を得る時もある。しかし地方自治体を取り巻く要素が複雑化する中で、今後どんな課題が設定できるのか等、全体を判断しながら、決

断したいと思っている。現時点、まだ決断に至っていないので、もう少し時間をもらいたい。

本町のいじめの現状とその対応について

入江 いじめの問題は、今やなにも珍しいことで



現実のいじめ報道

はなくなってしまう。断ることは悲しい現実である。

最近では、大津市や川西市で、中学二年生の男子生徒が自殺した事件が、大きな社会問題となっている。米子市においても二件の被害届が提出されているが本町の現状について伺う。

教育長 毎月、児童生徒の不登校、及び問題行動等に関する調査を行っている。その結果、今年四月～八月の間にいじめの報告が、中学校で二件あった。いずれも学校で早期に

発見、教職員で情報共有し、関係生徒への聞き取りをし、謝罪、関係の修復、保護者への連絡を行い、今後の指導方法・情報交換等を確認し、解決に至っている。

入江 学校教育の中で、児童生徒の特性を培うべく道徳の時間は週何時間あるのか伺う。

教育長 道徳教育は大事なものである。小中とも年間三十五時間、週一回は行っている。

・小学校低学年では、主として他人とのかかわり、友達と仲良く助け合う。
・高学年では、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立ち親切にする。
・中学校では、暖かい人間愛の精神を深め、他の人に対して思いやりの精

神を持つ。を主に行っている。

入江 教育委員長は現職時代、いろいろな問題に率先して取り組んで来られた。経験豊富な体験を踏まえて、今日、このような事態について、問題をどのように捉えておられるか伺う。

教育委員長 全国で今年の相談事件は前代未聞の件数が出ている。大事なのは教員が普段の生活の中で、日記とか会話の中で見つけたいといけない。いじめはどこでも、どの学級でも起こりうることであり、いじめる側が一〇〇%悪いという対応をして行かないと、いじめはなくならないと考える。